

地域の自然を知ろう!守ろう!伝えよう!

平岡いきものはっけん隊 アクションレポート Action Report

2019.12月~2020.2月

多くの恵みをもたらしてくれる自然を、私たち1人ひとりが大切にしたい!と思うことが、地域の自然を守っていく第一歩となるはずです。

本コーナーには、平岡幼稚園が行った冬季のアクションと、地域の自然観察スポットの情報等を盛り込んでいます。皆様の自然体験の一助になれば幸いです。

2/9、茅ヶ崎里山公園にて

全国学校・園庭ビオトープコンクール2019

受賞&パネル発表に参加しました。

2月2日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた発表大会に参加し、同時開催の「みんなのビオトープ展」でパネル発表を行いましたのでご報告いたします。

平岡幼稚園は今回で5回目の参加で、4度目の「日本生態系協会賞」を受賞しました。

4度目!

日本生態系協会賞受賞



全国学校・園庭 ビオトープコンクールって?

ビオトープの取り組みを行っている全国の学校が集まり、2年に1度開催されるビオトープの祭典です。

主催: (公財) 日本生態系協会

後援: 文部科学省・環境省・国土交通省・厚生労働省・ドイツ連邦共和国大使館など

さがみ自然フォーラム

厚木市・神奈川県自然保護協会主催の環境パネル展に出展しました。

さがみ自然フォーラムって?

県域全体をエリアとした自然の保全と再生に関わる諸問題を多くの人と共有することを目指し、神奈川県自然保護協会が主催するイベントです。県内で活動する様々な団体や学校・行政が参加しています。

2月6日(木)~2月11日(火)まで、本厚木駅前のアミューあつぎ5階にて開催された「第19回さがみ自然フォーラム」に参加しました。同期間中に、パネルや成果物を展示して、平岡幼稚園の取り組みをアピールしました。



鈴川 探鳥会開催

アオバトの研究で有名な
野鳥観察グループ
「こまたん」の皆さんに
講師を務めていた
できました。

2020年2月22日(土)に、野鳥観察グループ「こまたん」の皆さんにご協力していただき、平岡幼稚園から鈴川沿いを歩いて探鳥会を行いました。鈴川の南側には、厚木市～平塚市～秦野市まで繋がる県内最大規模の田園地帯が広がり、多くの鳥類が見られます。



撮影：佐藤道夫氏



イソシギ



タゲリ

撮影：金子典芳氏



カワセミ

撮影：佐藤道夫氏



マガモ

撮影：佐藤道夫氏



ハヤブサ

撮影：金子典芳氏



ノスリ

撮影：金子典芳氏



チョウゲンボウ

撮影：佐藤道夫氏



オオタカ

撮影：佐藤道夫氏

当日は、南～西の強風が吹き、観察会のコンディションとしては決して良いとは言えなかったものの、2時間で31種の鳥類を見ることができました。今年で4回目となること観察会ですが、毎年30種前後の鳥類が観察できています。鈴川周辺には本当に多くの鳥たちが見られることに驚かされます。



タイサギ



ニホンイタチ、現る!

撮影：佐藤道夫氏

大人も子どもも楽しめるように、望遠鏡をセットして下さったり、鳥類の解説していただいた「こまたん」の皆さま、ありがとうございました。



撮影：金子典芳氏

こまたんメンバーと集合写真

色んな鳥が
見れて
楽しかった!



最後に見つけた鳥をみんなでチェック～鳥合わせ風景

わたしたちが遊んだ 鈴川はこんなところ!



鈴川は、大山を水源とする金目川水系の2級河川です。近年、水質が改善され、生きものが豊かな川になりました。広大な耕作地が隣接しているため、さまざまな鳥類が見られる楽しい場所です。

県立茅ヶ崎 里山公園観察会

茅ヶ崎野外自然史博物館のメンバーと共に谷戸を散策する「柳谷観察会」です。

2020年2月9日(日)に県立茅ヶ崎里山公園で行われた茅ヶ崎野外自然史博物館主催の「柳谷観察会」に参加してきました。四季を通じて年5回行われているこの観察会も、とうとう今年度最後の回となりました。今回のテーマは「冬鳥と動植物の冬越し」です。

寒い冬を乗り切るために工夫を凝らす生物たちの姿をみんなで探して楽しみました。北国から遙々渡ってきたマガモやコガモ、落ち葉の裏に身を隠すゴマダラチョウの幼虫、朽ち木の中で冬を越すコクワガタ幼虫、フワフワに包まれたオオカマキリの卵、冬芽の見せるかわいい顔等々、この時期ならではの楽しい出会いがたくさんありました。

その他、大気指標となるようなコケを探しもしたりして、寒さも忘れる楽しいひと時となりました。



冬の観察会も楽しかったね♪



コケ探しもしました



スジグロシロチョウ蛹



冬でも色んな生き物に出会えたよ!

ゴマダラチョウ幼虫



冬芽の観察



コクワガタ幼虫



ケーブルテレビの取材もありました



オオカマキリ卵鞘



ナナホシテントウ



ツチイナゴ

やつた! 3つめはっけん!

私たちが遊んだ「県立茅ヶ崎里山公園」はココ!

茅ヶ崎市最大の谷戸(約24ha)である柳谷を含む里山保全エリアでは多くの生きものが見られます。他に、大型遊具やお食事処もある大きな公園です。

茅ヶ崎市芹沢 1030
Tel: 0467-50-6058



文献紹介

園の活動で得られた新知見を学術誌に発表しました。

三浦半島昆虫研究会が刊行する学術誌「かまくらちょう」にて園の活動の成果が発表されましたので、ご報告いたします。この文献は平岡幼稚園にも所蔵されていますので、ご覧になりたい方は園にご連絡ください。

《報告の概要》

- ① クスベニヒラタカスミカメは、クスノキを宿主とする中国原産の外来種です。神奈川県で2例目の発見場所は、なんと平岡幼稚園の敷地内です。その後の調査で、県内の広い範囲に拡散していることが確認されたので、続報を神奈川県虫報(神奈川県昆虫談話会)に投稿中です。
- ② オツネントンボは、県の絶滅危惧Ⅱ類のトンボです。平岡幼稚園ビオトープで成虫が発見されました。湘南地域では極めて稀な種で、4例目の確認例となった貴重な記録です。
- ③ ネギオオアラメハムシは、県内では記録の少ない種類で、平塚市と相模原市緑区(旧藤野町域)では初記録となりました。いずれも園が行った生物調査の際に偶然発見されました。



堀田佳之介・相澤永人・堀田来佳, 2019. 外来種クスベニヒラタカスミカメを平塚市で採集. かまくらちょう, (96): 17-18.



堀田佳之介・大津 誠, 2019. 平塚市におけるオツネントンボの記録. かまくらちょう, (96): 8-9.



堀田来佳・堀田佳之介, 2019. 神奈川県におけるネギオオアラメハムシの追加記録. かまくらちょう, (96): 14-15.

自分が感じた自然の
楽しさや不思議を
絵に描いてみんなに
伝えてみよう！

絵画投稿コーナー おえかきひろば

今回の表紙絵は、在園中に描かれた作品から教職員19名で投票を行い選出しました。



「あおいとりとくろーばー」
佐野陽向子 (5才)



「あめのななふし」
柴田哲士 (6才)



「青い鳥とハート」佐野悠生 (3才)



「おはないっぱい」柴田和仁 (4才)



「すずめ」相澤永人 (6才)



「ファルコン」府川聡明 (6才)



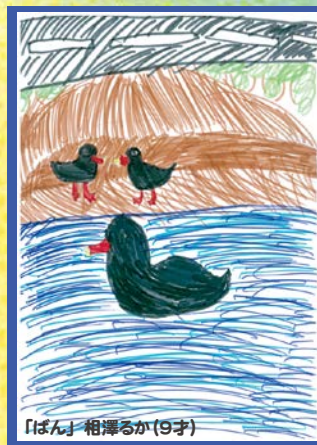
「むしさがし」柴田哲士 (6才)



「今日は見つけるのが楽しかったよ」
(椿とか実とかクヌギのどんぐり帽子とか)
小野麻琴 (4才)



「かまきり」
月康隆 (7才)



「ばん」相澤るか (9才)



「ゆかいなごうえん」佐野龍生 (7才)



「森と川とカワセミと」佐野紗弥子 (10才)



「くろいガアガアさん(オオバン)」
後藤柚香 4才



「カワセミきゅうけいちょう」
田川楓 (4才)



「カワセミ」後藤柚香 (4才)

生きものの絵画 大募集！
A4・縦向きで
裏に題名・氏名・年齢を書いて
幼稚園まで持ってきてね！

『湘南自然誌』 バックナンバー



① デジタル版をダウンロード

平岡幼稚園のHPからPDFがダウンロードできます。
<http://hiraoka-kg.com/>

② 公共施設で閲覧

以下の公共施設に所蔵されています。

【図書館】国立国会図書館（東京本館・関西館）、神奈川県立図書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館
※印は一定期間の配架（蔵書登録なし）

【博物館等】県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館
【その他】神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、秦野市立くずのはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののほな館、箱根町立森のふれあい館

③ 平岡幼稚園にて頒布

希望者には無料でひとり1部に限り、園にてお渡ししています。
（※ 要事前連絡）
ikimono@hiraoka-kg.com
もしくは 0463-58-1188（担当：園長）まで

シマヨシノボリ

アマゴ

ボウズハゼ



SDGsは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」で、17の目標で構成されています。『湘南自然誌』は、そのうち4つの目標への取り組みとして発行しています。

平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生き物呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全する活動を行っています。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。

【受賞歴】2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011「奨励賞」受賞
2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013「日本生態系協会賞」受賞
" 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に「平岡幼稚園ビオトープ」が選定
2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015「日本生態系協会賞」受賞
2018年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017「日本生態系協会賞」受賞
2019年 「かながわ地球環境賞」受賞
2020年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2019「日本生態系協会賞」受賞

平岡いきものはっけん隊の紹介

平岡幼稚園の園児・教職員・卒園児などで構成される本隊は、各界有識者の助力を得ながら、子どもたちの自然体験の充実を図ると共に、地域の自然を大切にしていける活動を行っています。
本誌の発行もその活動の一環です。毎号子どもから大人まで楽しく自然の面白さを学べる記事を組むと同時に、隊の活動で得られた湘南地域の生きものの情報の蓄積・発信を行っています。

【主な研究・発表実績】

研究テーマ	実施年	発表先
平塚市内のセミのゆけから調査	2014～18年	平塚市博物館研究報告『自然と文化』(38～42)
神奈川県におけるハルゼミの分布調査	2015～18年	平塚市博物館研究報告『自然と文化』(39～42)
平塚市内のトンボ調査	2015～17年	神奈川県自然誌資料(38)(共著)
その他 ※	随時	神奈川県虫報、Cicada、かまくらちょう等

※ ヒラタケワガタ、クロタマシ、ミナミアオカメシ、トラフコメツキ、ヒメサナエ、タカネトンボ、ニッポンハナタカバチ、ヨツボシトンボ、コイムシ、ヒメナガメ、ミンミンゼミ赤色型、ハルゼミの生態観察例、アブラゼミ脱皮殻にみられた畸形、他多数

訂正 「みんなで作る生きもの図鑑」の訂正

Vol.9 図鑑コーナーに間違いがあることが判明しましたので訂正をいたします。詳細は、P18をご確認ください。

ホトケドジョウ

編集後記

今回の特集では、创刊以来初めて川の中の生きものを取り上げることができました。名前だけ聞いたことがあるような魚も、意外と金目川にいたのだと、編集を通じて知ることができました。斎藤先生、ご協力ありがとうございました。

おえかきコーナーにも多くの絵画が集まりました。今は忘れてしまった子ども時代のものの方を思い出せるような気にさせてくれる楽しいコーナーになっているかと思います。最後に、写真を提供して下さった木村喜芳氏と、「こまたん」の佐藤道夫氏と金子典芳氏、毎号多くの生きものの同定に協力していただいている岸一弘氏に感謝申し上げます。（富岡）